

登 録 速 報

農 薬 名：クミアイサキドリEW（登録番号：第 20822 号）

適用拡大登録月日：平成27年9月9

適用拡大登録内容：

- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クログワイ コウキヤガラ	植代後～移植前7日 または 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	500mL/10a	1回	原液湛水散布
		移植時			田植同時散布機で 施用
		植代時(移植7日前まで)			植代時に原液のまま 散布し混和する
直播 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	湛水直播の代かき時 (は種7日前まで)	300mL/10a		代かき時に原液の まま散布し混和 する
		湛水直播の代かき後 ～は種前7日			原液湛水散布

ブタロールを含む農薬の総使用回数	ペントキサボンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

注意事項の変更：

【変更後】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 使用の直前に容器をよく振ること。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は、生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ミズガヤツリは発生始期まで、ヘラオモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生前が本剤の散布適期である。
- クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないの

で、必要に応じて有効な後処理剤との組合せで使用すること。

- 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきはていねいにおこない、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除くこと。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいにおこなうこと。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるよう散布し、少なくとも4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm程度）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 苗に付着すると軽微な薬害を生じることがあるので、本剤を移植後に散布する場合は水稲になるべくかからないようにすること。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下するおそれがあるので使用はさけること。
- 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので水管理に注意すること。
- 散布数日以内の梅雨明けなどによる異常高温では、初期生育の抑制が生じるおそれがあるので使用しないこと。
- 以下の水田では初期生育の抑制を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm／日以上）
 - 軟弱徒長苗を移植した水田
 - 極端な浅植や深植をした水田
- 直播水稲に使用する場合は、出芽時に湛水条件になると薬害が生じるので、水管理に注意すること。
- れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除等関係機関の指導をうけることが望ましい。

以 上